

# 家具や書庫等の転倒防止対策

## チェック欄

### タンス・棚・書庫

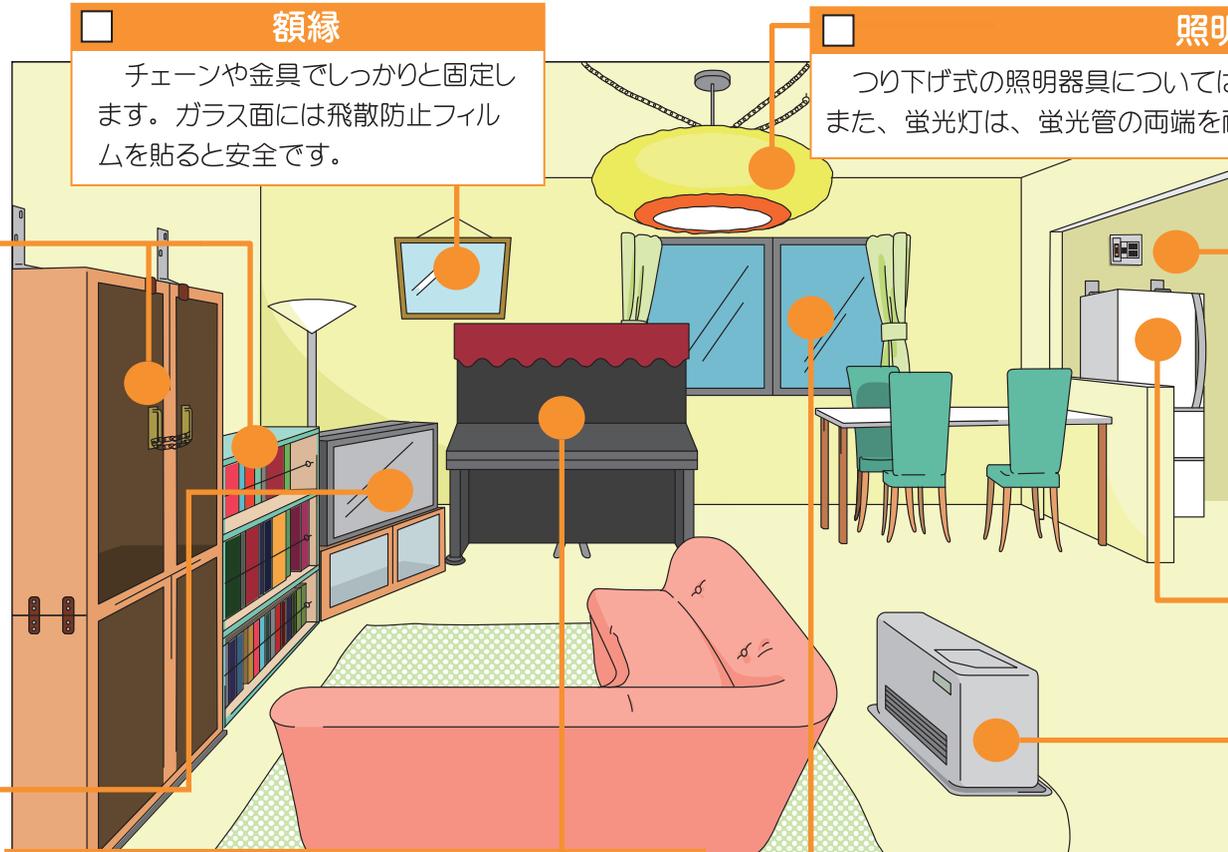
- ① 十分な強度がある柱や壁にし字金具などで固定します。ポール式器具を使用する場合は壁側の位置に設置し、ストッパーを家具手前側に入れるとよいでしょう。
- ② 上段と下段に分かれたキャビネットなどは、つなぎ目を金具で固定します。
- ③ 食器棚や本棚などの扉に止め金具を付けるなど収容物の落下や散乱を防ぎましょう。ガラス面には飛散防止フィルムを貼ると安全です。

### テレビ

十分な強度がある柱や壁に固定するか、しっかりと固定されたテレビ台などの上に固定しましょう。

### 額縁

チェーンや金具でしっかりと固定します。ガラス面には飛散防止フィルムを貼ると安全です。



### ピアノ

地震による転倒や移動が防止できるよう、ピアノ専用の固定器具等により対策をしましょう。

### 照明器具

つり下げ式の照明器具については、チェーンと金具で数か所固定します。また、蛍光灯は、蛍光管の両端を耐熱性のテープで止めておきます。

### 感震ブレーカー

地震の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。電気火災対策に効果的です。

### 冷蔵庫

粘着テープを使用した、転倒防止用の専用ベルトが市販されています。また、ベルトやチェーンで固定できるように、上側にフックがついている場合があります。

### 暖房機器

対震自動消火装置付きの暖房機器を使用し、周囲に燃えやすいものを置かないようにしましょう。

### 窓

ガラス面に飛散防止フィルムを貼りましょう。

### 玄関・ブロック塀

玄関や縁側など、外への避難路となるところは、家具の転倒などでふさがれないよう、配置を工夫します。ブロック塀のあるご家庭は、傾きやひび割れ、破損がないか点検しましょう。

◎ **ご家庭や事業所で、家具や書庫等の転倒防止対策をチェックしてみましょう！**

※建物の耐震性についてもチェックしましょう！

(昭和56(1981)年5月31日以前に着工された木造住宅の無料耐震診断を実施しています。詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。)